

令和3年度決算認定審査を

決算特別委員会へ付託

令和3年度の決算認定は、9月26日の本会議最終日に決算特別委員会に審査を付託し、委員長に新田茂美(新政クラブ)、副委員長に高橋みさ子(成蹊21)を選任しました。

特別委員会は、10月13、14日及び21日に開催し、12月定例会初日の本会議での委員長報告の後、全議員による認定の採決を行います。選任された委員は次のとおりです。

委員長	新田 茂美(新政ク)
副委員長	高橋みさ子(成蹊21)
委員	梅田 洋一(新政ク)
	水野 善丈(無党派)
	大崎 勇一(公明党)
	中島 康二(みらい)
	山田 武豊(ク進風)
	徳原 光治(成蹊21)
	堀田 憲幸(みらい)
	岡本 敏博(新政ク)

議員定数調査特別委員会

中間報告【抜粋】

9月定例会初日、議員定数調査特別委員会の調査活動について中間報告を行いました。

報告内容は次のとおりです。

【特別委員会の設置】

令和3年6月定例会、10人の委員で構成する議員定数調査特別委員会を設置。

【協議会概要と2部会の設置】

委員会では令和3年7月12日から、15回にわたり調査研究を進めてきた。また、分析などを行うため2部会を設置して進めた。

【作業部会Aの活動】

広く市民の意見を聴くため、4月から7月までの間、議員が地域などに出向いて、各種団体や学校など、市内の18団体、延べ204名と意見交換を行った。その意見を参考に作成した議会に関するアンケート調査を、18歳以上の市民2500名を対象として9月12日から末日までの間で実施する。

【作業部会Bの活動】

全国の自治体から、人口や人口推計を基に類似市を選定し、人口、面積、職員数、産業、教育などのさまざまな要因の中から、どの要因が議員定数に強く影響を与えているかを調査し、議員定数の推計を求めている。

【アンケートと分析データの融合】

今後、作業部会Aの市民アンケートデータと作業部会Bの統計分析データを融合させ、さらなる調査研究を進めていく。

【多角性と客観性による最終判断】

議員定数については、市民の声や市の特性を踏まえて算出した数値結果と、学識のある方からの助言を参考にしながら総合的に判断する。

【最終報告】

引き続き、本委員会を定期的開催し、目指すべき議会像や議員の役割などを整理し、令和5年6月定例会で、適正な議員定数について明確な考えを報告することを目指す。

用語説明

- ① **ランドバンク事業** (P8) …小規模連鎖型区画再編事業。宅建士・建築士・司法書士等の専門家が連携し、空き家や空き地、幅が狭い道路等を一体で再編し、宅地等に活用する事業
- ② **性的マイノリティー** (P9) …LGBTQと同意で使われることが多く、性的少数者のことを示す
- ③ **リビングマルチ** (P10) …主作物との間に地表を覆うように栽培し、雑草を抑制する方法
- ④ **流域治水** (P12) …集水域から氾濫域のあらゆる関係者が協働で水災害対策を行う考え
- ⑤ **配合飼料価格安定制度** (P12) …配合飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するための制度
- ⑥ **50戸連たん制度** (P12) …市街化調整区域で、7ha内に建築物が50以上立地(連たん)している等の区域において土地開発等を許可する制度